

【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	SDGs、Society5.0、グリーンツーリズム、PFI、PPPなど、用語の解説を付けて頂きたい。	主なものについて、用語説明を加えます。
2	戦略案の「6つの視点」それぞれの具体的方策、施策案をどのようなスケジュール、方法で作成するかが非常に重要です。具体的な施策についてもパブリックコメントを募るべきだと考えます。そうすることで市民の皆様から活発な意見、要望が出されると思います。	村上市総合戦略における基本目標ごとのより詳しい施策やこれに基づいて実施する個別事業などに関するご意見とお見受けします。施策については、本計画で記載しているところであり、その方向性に基づきながら、様々な事業に取り組んでいくこととしております。また、個別事業については予算案とともに市議会で審議されるものと考えており、個別事業に関するパブリックコメントは実施いたしません。なお、村上市総合戦略に基づいて実施する個別事業については、村上市総合計画（総合戦略）進捗検討会議で外部委員からの意見も得ながら実施していくとともに、進捗状況については市ホームページなどで引き続き公表してまいります。
3	(P12) 基本目標1(1)①農林水産業の振興において、「森林環境税を利用した林業振興」が施策として載っていないのが残念です。広大な森林を積極的に有効利用してもらいたい。そして森林環境税をリードしてきた自治体としてがんばってもらいたい。	森林資源を含め、本市農林水産物をどのように活用し活性化させていくかについての方向性を記載しております。ご意見にあった森林環境譲与税については、すでに策定されている「森林環境譲与税の活用に向けた基本方針」に基づき活用してまいります。
4	(P13) 基本目標1(1)②「海岸部や山間部の集落にも集客や地域の活性化につながるような取組も求められています。」とありながら、(P14)「・・・街中の回遊性の向上や・・・」とありますが、観光・交流人口の拡大のためには、街中の回遊性のみならず、移動のための二次交通が絶対必要です。来訪者の利用も考慮した村上市全体を包み込む公共交通としての二次交通を是非お願いします。(街中を市内に直してもらいたい。)	ご意見を踏まえ、「街中の回遊性の向上」を「市内の回遊性の向上」に修正します。なお、ご意見にある来訪者の移動手段の確保については、広大な面積を有する本市にとって課題の一つです。本計画では、市内各地域に訪問したくなるような魅力あるコンテンツを作っていくことや、訪れた先で楽しい時間を過ごすことのできる内容を充実させていくことがとても大切であって、各地の魅力を官民が協力して磨きあげていくことが市内を回遊する来訪者を増やすことにつながると考えております。また、そのことが二次交通の必要性や持続性を高めていくことにつながると考えます。
5	(P16) 基本目標1(1)③「道の駅の総売上額」という目標値の額が少なすぎると思っています。道の駅1ヶ所の額でしょうか。3ヶ所合計額の方がよいと思っています。	「地域の魅力発信と物産振興」の項における目標値として、道の駅朝日と笹川流れ夕日会館における「物産館」のみの総売上金額を記載しています。ご意見を踏まえ、より分かりやすい表現となるよう目標値の項目名を修正します。
6	(P26) 基本目標4(1)「集落支援員の配置数20人」という目標値について、支え合いに限った支援とするのでしょうか。今まで渋っていた支援員の配置をいきなり増やした理由は、人材不足の補填でしょうか。地域の課題解決のために透明性のある配置にしてもらいたい。	集落支援員については、これまでモデル的に配置してきました。今後は、課題解決や地域活性化のために、地域の合意を得ながら導入地域を順次広げていく目標としています。分かりやすい表現となるよう修正します。
7	総合戦略に基づき総合計画が作られると思いますが、市の既存施設（空き施設を含めて）の利用計画を決めてから総合計画が策定されていくということでしたが、結果を公表願います。	村上市総合計画は様々な計画や施策の基本指針となるべきものであり、審議内容やパブリックコメントを含めて可能な限り透明性を高めていく予定です。なお、公共施設の管理に関する計画についても、市民の意見を伺いながら策定する予定であり、結果についても公表を行います。

【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
8	<p>(P1) ■はじめに「将来にわたって持続的な成長を目指していくことは・・・」という表現には、そもそも、成長し続けることが可能という前提があるように受け止められます。持続的な社会環境を造ることは必要でも、それが所謂成長する形とは成らない事もあるのではないかと考えています。夢が無いのではなく、現実の確認とその背景の分析が、より丁寧になされることが必要だと考えます。その上で、現在残る自然の恵みの承継、いや、今より多様で豊かな自然環境へ再生することができるとか、住民の健康と福祉が守られ、悪化させない事など、まずは現状より悪くさせない事に重点を置くことが先だと思うのです。そのために、まず出来ること検討する。そして、各種の意識やニーズの調査結果や、経済動向の観察等を市外業者への委託に頼るだけでなく、担当部署に市の住民でもある人がいるでしょうから、地元で暮らす感覚と照らして分析することが大事だと、いつも思っています。</p>	<p>「成長する」という意味については、「発展する」「理解が深まる」「幸福が増す」「向上する」など、広い意味で、効果がある、プラスになる、より先に進むことと捉えています。ご意見にある通り、「これ以上悪化させない」ことにも、「どのように維持していくか」「どうしたら今以上悪化させないか」などと思索しながら対処していくことが必要であり、そうした取組こそが「成長する」ことにつながるものであると考えております。ご意見にある「健康と福祉が守られ、悪化させない事」に向けた取組も「成長する」ための取組であると考えております。</p>
9	<p>(P2) と (P3) 第1章【I】の内容は一つのページに収めて記載することを提案します。理由は、【I】の図などは画面ばかり使い、不必要な図ではないかと思うくらいです。殊にこれは国の資料ではないのですから、これに多くの紙面を割くのは不経済だと思います。人口ビジョンに対する意見にも記載しましたように、印刷することを考慮して無駄な画面は避けることを要望します。</p>	<p>読み手にとって視覚的にも分かりやすい構成となるよう、図を多く取り入れています。なお、村上市総合戦略は、冊子として製本は行わず、主にデータとして活用する予定です。また、印刷が必要な場合でも、白黒印刷に対応できるよう工夫しながら編集し、コスト削減を図っております。</p>
10	<p>(P4) 第1章【Ⅲ】「国内生産や国内拠点への回帰に対する考え方の高まりや海外旅行の需要減少などに伴う国内旅行の増加、グリーンツーリズムやマイクロツーリズムなどの再認識など、今後地方の魅力が見直されていく可能性はまだあると言えます。」という視点は今後も大事にしたいと思えます。</p> <p>(P13, P14) 基本目標1(1)②の内容のような視点での取組は期待します。</p> <p>地元には、これと言った物が無いと感じている人がまだまだ多いようです。しかし、大都市部の住居環境や大気水質環境などからすると、健康で快適安全な質の高い生活、お金では交換できない環境の取得を望む人々は、徐々にではありますが地方都市へ移住し始めているのでは無いかと、知人などの状況から感じます。</p> <p>マイクロツーリズムは、県内や隣接県からの訪客でも可能です。自分の知らない土地で様々な人と触れ合う旅を楽しみたい人、異文化的な体験をしたい人など、大都市が失ってきた諸資源が残る地方都市の強みを、自信をもって発信することは続けたいです。</p>	<p>ご意見として参考とさせていただきます。</p>

【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
11	(P5) 第1章【IV】「減少に伴って変化している地域社会にどのように対応していくかという面もとても重要な観点であると言えます。」「単に人口を増やすことだけを進めてもこれらの諸課題を解決することにはつながらない可能性もあります。既に変化している社会や暮らしに合わせて対策を講じながら、長期的な視野に立って人口を増やす(減少を抑える)取組を進め」という視点に賛同します。人口減少は国の全体の傾向で、高齢化も少子化も既に現実です。これにどう対応して人口が少なくても平和に豊かに暮らすことが維持できるか創造できるかが大事だと思います。	ご意見として参考とさせていただきます。
12	(P6) 第1章【IV】に図は不要だと思います。前述したように紙面の無駄を感じます。	読み手にとって視覚的にも分かりやすい構成となるよう、図を多く取り入れています。なお、村上市総合戦略は、冊子として製本は行わず、主にデータとして活用する予定です。また、印刷が必要な場合でも、白黒印刷に対応できるよう工夫しながら編集し、コスト削減を図っております。
13	(P7) 第2章【I】の文と図も不要だと考えます。その前の部分で述べていることで十分だと考えます。これも紙面の無駄と感じます。	読み手にとって視覚的にも分かりやすい構成となるよう、図を多く取り入れています。なお、村上市総合戦略は、冊子として製本は行わず、主にデータとして活用する予定です。また、必要に際し印刷する場合でも、白黒印刷に対応できるよう工夫しながら編集し、コスト削減を図っております。
14	(P9) 第2章【III】(2)は(P11) 第3章■基本目標と理想像で説明できる内容だと考えます。P9は不要な紙面だと感じます。	(P9) 第2章【III】(2)の内容は、(P8) 第2章【III】(1)の視点と分野をどのように構成しながら組み立てていくかについて記載したものです。図を用いながら、誰でも分かりやすく全体を段階的に理解できるよう編集しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
15	(P12) 基本目標1以降に関して、数値の目標の算定の根拠方法が付記されると、目標値の妥当性が事後評価し易いと考えます。	ご意見を踏まえ、目標値の算定方法や設定の考え方を内部で整理し、今後、進捗状況を確認する際などに活用したいと考えております。
16	(P30) ■共通目標2「あらゆる人や力をうまく組み合わせたり、儲かる事業と儲からなくても地域に必要な事業を組み合わせ」という視点には賛同します。公共性の視点から暮らしと市民性を育てるような公民館活動も今後大事にしたいです。	ご意見として参考とさせていただきます
17	用語の解説を付記してもらいたいです。「地域における Society5.0 の推進や地方創生SDGs」「Wi-Fi・インターネット」等、高齢者にはこれらの用語に関してまだ理解が不足している人は多いと思います。市民のための戦略ですから、用語も出来るだけ身近に理解できる程度で使用してほしいです。	主なものについて、用語説明を加えます。